

ゼミ名（通称）	科目名	担当教員（所属学科）	主要担当科目
姉齒ゼミ	演習 I	姉齒 暁（商学科）	消費経済論

ゼミのテーマ

ゼミ生の関心に沿ったテーマ設定を行います。テーマは、生活という窓口からみた経済/社会問題全般です。特に、歴史分析を力にしながら現実の問題を見ることを重視しています。

ゼミの目標と内容

課題設定、資料収集、分析、プレゼン、討論そして論文としてまとめる力を身につけて社会に出て行ってもらうことが目標の一つです。このゼミを終えて社会に出た先輩たちは、口々に「会社で4000字のレポートを」「来週プレゼンを」と言われても苦に思ったことはないと言っています。さらに、問題意識と想像力を有し、行動できる力を身につけることは最大のゼミの目標です。そのために学生自らが提起してテーマに関連する映画や写真展、講演会、企業見学（社外）にかけられることもあります。夏合宿では主として「体験型合宿」を行っています。夏合宿の行き先を決めるのは学生自身です。一人の提案をみんなでまじめに話し合い、取り組んでいく、そういう繋がりの濃さがゼミの自慢です。



趣味：スキー1級、

好物：バウムクーヘン

その他のゼミ活動

地方の地域と連携して調査を行ったり、他大学の経済学系ゼミとの討論会、公募論文への応募なども行っています。実績：新潟県地域活性化事業2年間連続で取り組み。五泉市食育調査で3000人以上の市民を対象にしたアンケート調査と分析など。

ゼミに入る上での注意点

無断欠席・遅刻は厳禁。課題は必ずやってくるのが求められます。それだけ力がつく場所です。思いっきり勉強したい、成長したい、自分を変えたい・・・そういうゼミ生を求めています。姉齒はスウェーデンでの在外研究を終えて戻ってきます。この間、ゼミ生の募集を停止していましたので、人数が少ないところから再開することになります。

ゼミに関連して受講してほしい科目特になし

先輩ゼミ生からのゼミ紹介

私たち姉齒ゼミの研究テーマは「消費経済論」となっています。しかし、研究テーマは毎年ゼミ生が決めることになっているため、実際のゼミのテーマは広範囲にわたります。昨年は「沖縄問題」を中心に学習し、沖縄へ現地調査に行きました。姉齒ゼミは厳しく、そのためゼミ員が少ないのですが、その分先生との距離も近く、ゼミ生同士も学年の垣根を超えて仲良くしています。充実したゼミ活動をおこなっています。実践的な力をつけることができます。しっかり勉強したい方や仲の良い友人を作りたい方はオススメです！

ゼミ名 (通称)	科目名	担当教員 (所属学科)	主要担当科目
小倉ゼミ	演習 I	小倉将志郎 (経済学科)	現代アメリカ経済論

ゼミのテーマ

アメリカは 20 世紀を通じ、その圧倒的な経済力と軍事力によって、政治、外交、経済、社会、文化といった様々な側面で「覇権国」として世界をリードし、強力な影響力を持ってきました。そのアメリカの存在感が近年弱まってきていると言われます。背景として、中国の経済的台頭といった外的要因や、自らの経済・軍事・外交諸政策の行き詰まりといった内的要因など、様々なことが指摘されています。そんな中、ドナルド・トランプ大統領は「Make America Great Again (アメリカを再び偉大な国にする)」と主張して 2016 年の大統領選に勝利しました。これは非常に重大な出来事として受け止められ、実際、トランプ政権 4 年間にアメリカと世界は大きく揺れ動きました。その後、2 期目を目指したトランプ大統領は 2020 年 11 月の大統領選挙で敗北し、選挙後の紆余曲折を経て、今年 1 月に新たに民主党のジョー・バイデン大統領が誕生しました。果たしてトランプ元大統領は 4 年間で「アメリカを偉大に」できたのでしょうか？そして新しいバイデン政権の下、アメリカは、世界は、今後どのような方向へ向かっていくのでしょうか？



雑談が多い方のゼミかもしれません。学生の話聞くのは結構好きです。

そんな問題意識を共有しつつ、ゼミでは現代のアメリカ経済・社会について幅広く勉強します。産業、金融、労働 (移民問題含む)、社会政策 (公的扶助・医療・年金)、経済政策、貿易・国際経済関係 (グローバリゼーションとアメリカ)、環境、地域、人種差別等々、多様なサブテーマが含まれます。それらの中からゼミ生の関心のあるテーマをいくつか選んで学びます。今年の 2 年ゼミ生は、希望に従い「20 世紀以降のアメリカの歴史」を勉強中です。

ゼミの目標と内容

目標はアメリカを多面的に捉えること。内容は学生が希望するテーマの文献の輪読が中心。毎回、報告者、司会者を立て、参加者全員に論点・疑問点などを提出してもらい、それらを題材に議論がなされます。演習での学びの成果は機会を見つけて発表します。

その他のゼミ活動

新歓ゼミコンパ、学生シンポジウムでの発表、他大学ゼミとの研究交流 (コロナで休止中) は必須イベント。他、ゼミコンパ、ゼミ合宿などについては希望を聞いて柔軟に実施します。

ゼミに入る上での注意点

希望していただいた方全員を歓迎しますが、海外の社会や文化に興味のある方は特に大歓迎です。なお欠席回数に基づく「除ゼミ」ルールを独自に設定しています。

ゼミに関連して受講してほしい科目

現代アメリカ経済論 a, b、国際経済コースの諸科目、(留学・海外就職希望者などは) 英語。

先輩ゼミ生からのゼミ紹介

「学生主体の真剣な討論と和気あいあいとした雑談とのメリハリがしっかりある、先生と学生の距離が近いアットホームなゼミです！」(4 年ゼミ長)。

ゼミ名（通称）	科目名	担当教員（所属学科）	主要担当科目
北口ゼミ	演習Ⅰ	北口りえ（商学科）	税務会計論

ゼミのテーマ

租税（税務会計、租税法）

ゼミの目標と内容

租税に対する理解を深めることを目的としています。

演習Ⅰでは、租税法の考え方や基本原則、所得税や消費税、法人税といった様々な租税について法的に学びます。

その後、演習Ⅱで法人税を基礎とする税務会計について学びます。



その他のゼミ活動

懇親会等のゼミ活動には積極的に参加してください。

ゼミに入る上での注意点

ゼミでは意欲的に発言するよう心がけてください。

理由のない遅刻や無断欠席は大きな減点としますので、注意してください。

ゼミに関連して受講してほしい科目

税務会計論

会計学基礎、簿記論などの会計科目全般

先輩ゼミ生からのゼミ紹介

私たちのゼミでは、北口先生のもと、主に租税について学んでいます。

各学年とても仲が良く、色々なことにゼミ一丸となって楽しく真剣に取り組んでいます。

ゼミ名 (通称)	科目名	担当教員 (所属学科)	主要担当科目
西村ゼミ	演習 I	西村 健 (現応学科)	企業経済学

ゼミのテーマ

「ゲーム理論」と「実験経済学」というテーマです。

ゼミの目標と内容

このゼミでは、ミクロ経済学の基本的・応用的なトピックについて学習します。理論的な知識を厳密に学び、現実との比較をおこない、自分の言葉で語れるようになることが目標です。

ゲーム理論とは、人々や企業の間「戦略的相互依存関係」すなわち“駆け引き”を分析するための総合的な理論体系です。ただし、それはあくまでも「理論」なので、理論結果が現実そのまま成り立つとは限りません。化学や物理学あるいは心理学と同様、ゲーム理論の仮説についても「実験」で検証する必要があります。そこで登場するのが実験経済学です。皆さん自身が実験参加者または実験設計者となり、実験結果と理論仮説を比較検証します。



オークション理論の研究をしています。

その他のゼミ活動

毎年夏休みに実施するグループワーク報告会(2・3年合同)に参加してもらいます。ゼミ生からの希望があれば、合宿(夏もしくは春)を実施します。

ゼミに入る上での注意点

テキストの輪読を通じて、理論的・数学的な内容を基礎から着実に学びます。ミクロ経済学の延長的な内容になりますので、その講義内容を面白いと感じた学生の皆さんに受講をおすすめします。輪読の発表者以外にも、積極的に発言・議論することが強く求められます。

グループワークも実施します。理論的な仮説が現実成り立つかどうか、実験データを収集・整理して検証してもらいます。チーム作業だということを意識して、メンバーと協力・議論しながら作業を進めてください。ゼミ生の皆さんには、ゲーム理論の実験に頻繁に参加して様々な「ゲーム」をプレイしてもらいます。実験には報酬が付けられる場合もあります。

ゼミに関連して受講してほしい科目

企業経済学とゲーム理論の受講を強く希望します。それらの予備知識があると、ゼミの学習を円滑に進めることができます。

先輩ゼミ生からのゼミ紹介

西村ゼミでは、参考書を読み、ゼミのたびに代表者がレジュメを作り、まとめや思ったことなどを発表します。あまり馴染みがない内容かもしれませんが、実用的でおもしろいと思います。先生も優しく、熱心でいい先生なので、興味があったら是非入ってみてください。

ゼミ名 (通称)	科目名	担当教員 (所属学科)	主要担当科目
番場ゼミ	演習 I	番場博之 (商学科)	流通政策

ゼミのテーマ

流通・まちづくり・マーケティング・商業教育

ゼミの目標と内容

(2・3年同時募集)

このゼミでは、企業のマーケティング戦略、それが引き起こす問題とそれへの公的対応、地域再生やまちづくりについて研究していきます。

まず2年次では、企業のマーケティング戦略とそれによって引き起こされる問題に「気づくトレーニング」をしていきます。広告、アソートメント、景品・懸賞、立地戦略、ブランド、チャンネルなどを文献研究を通して検討し、その有効性ととも問題性を考えていきます。



その他のゼミ活動

このゼミの運営プログラムは3年間で完結するようにつくられています。2年次は、「見る・聞く・話す・調べる」を軸とした『問題発見型学習』が中心です。前半はビジネスゲームと書籍等の輪読、後半は課題研究・巡検・プレゼン・討論などを行うなかで社会科学を学ぶ上での基本的なスキルや考え方を身につけるとともに各人が研究テーマを見つけていきます。3年次は『問題解決型学習』が中心です。それまでの学習成果を前提として問題解決のための文献研究・課題研究を行い、論文を書きます。課題研究はワークショップの手法によるグループ学習が中心です。そこで取り扱うテーマは多様で、学内外のコンペ等への応募を前提に行われます。

3年次後半から4年次では、先行研究を利用しながら、それまでの各自の研究内容を検証し、より深めていく『知識習熟型学習』が中心です。具体的には、書籍・論文・地図・統計等を利用した学習となります。それと同時に全員が卒業論文の執筆を行います。卒論執筆は、『新たな課題発見の学習』といえるでしょう。なお、内容はメンバーによって柔軟に運用します。

ゼミに入る上での注意点

応募に際して学科や成績は問いませんが、様々な活動に自主的かつ積極的に取り組める人のみ応募して下さい。

なお、コロナが収束していれば、ビジネスゲーム・巡検等のためにゼミ費(月額100-200円位)を徴収し、積み立てていきます。ゼミ費は学生が自主的に管理・運営していきます。同窓会・教職・合宿・他大学ゼミとの交流、就職・進学などゼミに関わる項目は多岐にわたります。ゼミ生には体育会に所属する学生も少なくないので、部活動との両立も考慮しますが、個別事情は基本的に事前に相談下さい。ゼミ論集の閲覧も可能です。

教材は必要に応じて相談して決めます。中学校・高校の教員を目指す人は個別に指導します。

今回は2年生(新規)と3年生(追加)の募集を同時に行います。演習I(新2年生)は番場ゼミ第29期生、演習II(新3年生)は28期生となります。ゼミ運営方法はゼミ生の人数等に応じて変更になる可能性があります。授業やゼミ活動は2・3・4年合同で行うこともあります。その他、わからないことがあれば個別説明会で聞いてください。

ゼミ名 (通称)	科目名	担当教員 (所属学科)	主要担当科目
堀内ゼミ	演習 I	堀内健一 (経済学科)	経済理論・資本の原理

ゼミのテーマ 現代資本主義研究—日本経済の長期停滞の分析と将来展望。資本主義社会の経済法則の理解の上に現代資本主義の発展動向を分析しています。とくに1990年代以降の日本経済の発展のありかたの大きな変化に着目しています。



ゼミの目標と内容

日本は先進資本主義国のなかでも課題先進国とよばれ、ある意味最先端を走っています。この30年ほどの国内では、名目GDPは横ばい傾向、インフレ終息、非正規雇用は40%に倍増、賃金水準は97年以降低下傾向、所得格差が2000年代以降顕著に拡大、少子高齢社会の到来といった構造的変化が生じています。海外では、中国など新興国が急成長、アメリカも経済規模は約3倍になるなか、日本の生産拠点は海外に移転、同時に国内への労働力・観光客の積極的受入も進んでいます。日本経済の構造的変化、長期停滞の諸要因は、一定の経済発展の成功と国民の平均的な消費欲望の充足にあると考えた場合、さらなる経済発展をもたらす技術革新とその生産力への応用は可能なのか、国内投資をさらに誘発できるのか、できないならどうしたらよいのかということを考えています。

そのために文献、資料の収集と読解・討論、統計データの加工・分析を行います。その過程で文献要約レジュメ、討論内容記録を作成し、グループ・個人での研究レポートを執筆します。それらの成果は、ゼミの時間はもちろんのこと、学内の「学生シンポジウム」での発表、学期末ごとの課題レポート・最終的には卒業論文の提出、卒業研究の口頭試問での討論というかたちでつみあげていきます。

その他のゼミ活動 ゼミ連のスポーツイベント、懇親会、夏合宿、新年会、春合宿など。

ゼミに入る上での注意点

このゼミでは卒業研究・卒業論文執筆を必須としています。なるべくはやく自分で解くべき問題を見つけ、それを自分の頭で考えるには、それなりの安定した心持ち、それを支える規律ある生活と社会常識が必要です。個人の自由が尊重された上で、グループ研究や合宿などでの協調性の発揮も求められます。

ゼミに関連して受講してほしい科目

経済理論・経済システムの原理(堀内担当)など経済学科配当の諸科目。演習Ⅱ(3年生)では、他学科での社会経済学、金融系、会計系、経営学系統の科目。

先輩ゼミ生からのゼミ紹介 とってもこじんまりしたゼミです。少人数ゆえ、丁寧な指導を受けることができ、研究の自由度も高いのが特徴。「経済学を学び始めたはいいけれど、理論ばかりでつまらない、経済ニュースの論点もつかめない」そんな思いがあるのなら、このゼミでとことん向き合ってみませんか? 文献輪読では、初歩的な知識や理論はもちろん、最新の学説やリアルタイムな経済問題、視野を広げて社会問題まで議論されます。今年度のグループ研究では新型コロナウイルス感染症の流行をテーマに日本経済を分析することになりました。最初は先生からたくさんつまれることにびっくりするかもしれませんが、その分理解を深められますし、実のところ、堀内先生はとびきり愉快的な御仁です。学びたいことが定まっているあなたも、自分の興味を探し中のあなたもぜひ。(2年生、副ゼミ長 M・Y 執筆)

ゼミ名 (通称)	科目名	担当教員 (所属学科)	主要担当科目
松田ゼミ	演習 I	松田 健 (現応学科)	現代企業論

ゼミのテーマ

株式会社論が主ですが、企業統治論や SDGs (Sustainable Development Goals) も射程に入れながら、企業と社会との関係を研究します。

ゼミの目標と内容

ゼミの目標は、「自分と異なる意見の持ち主との間で、論理的に意見を交わされるようになること」です。そのためだけではありませんが、毎年、日経 BP 社が運営している「日本学生経済ゼミナール関東部会 プレゼン部門(インナー大会)」に2、3年生の混成チームを作って参加しています。これは自分たちで設定したひとつのテーマの下、他大学の同世代とお互いの研究内容を発表し合うことで少しでも広い視野を身につけてもらいたいと考えているからです。この日経 BP のインナー大会には 150 チームほどが予選に参加するのですが、松田ゼミチームは近年では3年連続でブロック優勝し、決勝(12 チーム)に残るようになりましたが、昨年度、一昨年度は予選で散りました。

また、学年を越えた交流も松田ゼミの最大の特徴のひとつです。サブゼミでは3年生が2年生に経営学の基礎をレクチャーします。

その他のゼミ活動

インナー大会の他、他大学のゼミとの合同研究報告会があります(今年度はオンラインで行えるか検討中ですが、例年は日本大学・明治大学・津田塾大学などに行っています)。ゼミの公式行事以外では、同期のみで行うアクティビティだけではなく、学年を跨いでおこなわれるイベントや OB/OG も交えた様々なイベントも行われていますが、昨年度はできませんでした。今の状況では今年度中の開催も厳しいかもしれませんね。

ゼミに入る上での注意点

元気があること。大学生としてある意味当たり前の常識を持っていること。チャレンジに前向きなこと。自分で自分の限界を決めないこと。自分に厳しく他人にやさしいこと。毎日必ず何かしらの印刷物(新聞や本)を読むこと。目標達成に向けた努力を継続できること。当事者意識を持ってゼミに参加すること。そしてもちろん、ここまで挙げた各項目を読んでみて、今の時点で「そんなのムリ」って、メゲていないこと。

ゼミに関連して受講してほしい科目

経営学系科目を受講済みであることが望ましいのですが、これを受講していなければならないといった拘束性の強い条件はありません。



先輩ゼミ生からのゼミ紹介

こんにちは！4年ゼミ長の上原仁菜です。

松田ゼミは学生主体のゼミです。本ゼミ・サブゼミ・班活動などの日々の学習や、ゼミ内の行事全てをゼミ生が企画し運営を行っています。そのため、自ら考え行動する力が身に付きます。また、松田ゼミの特徴として、縦の繋がりが強く学年を越えて交流を深めることが出来ます(現役のゼミ生だけでなく、OBOGの方もサポートして下さる環境が整っています)。

成長するかしないかは自分次第ですが、成長したい人、何事にも諦めずに挑戦し続ける人を全力でサポートする先生、ゼミ生が松田ゼミにはいます。私自身、先生や先輩、同期にたくさん相談ののってもらったり背中を押してくれたり、松田ゼミに入ってよかったと日々感じています。

大学生活に物足りなさを感じている人、何か一つでも全力で取り組みたいと考えている人、松田ゼミに興味がある人は是非一度、私達のゼミ説明会へ話を聞きに来てください！そして気になることがあれば、ゼミ生にどんどん聞いて下さい(^ ^)

熱い思いを持っている方を私達はお待ちしております！一緒に素敵な大学生活を送りましょう！

ゼミ名 (通称)	科目名	担当教員 (所属学科)	主要担当科目
水野ゼミ	演習 I	水野祥子 (経済学科)	西洋経済史

ゼミのテーマ

ゼミのテーマは「世界」と「歴史」です。私たちが生きる世界が直面するグローバルな環境問題や南北問題などは、長い歴史をかけて形成されたものです。歴史を学ぶことを通じて、自分と世界をつなげる視点を持ち、異なる社会のあり方を理解する能力を身につけてほしいと思っています。



ゼミの目標と内容

・ 2 年生

グループで興味のあるテーマを選び、報告することによって、プレゼンテーションやディスカッションのスキルを磨きます。また、概説書などをテキストとして用い、文献を読解・要約する力と批判的思考能力を高めます。さらに、自分の意見を文章で的確に表現する力を身につけていきます。これらの力は、卒業後も必ず役立つはずで

・ 3 年生

前期には、専門書を分担して報告するなど、より専門的な知識を養います。後期には、各自が関心のあるテーマを選び、研究成果を卒業論文の習作としてレポートにまとめます。3年生の間に問題の立て方、論証の仕方など、論文作成のための基本的な方法を身につけます。

・ 4 年生

卒業論文の作成

その他のゼミ活動

2・3年生の合同ゼミ発表会、4年生の卒業論文発表会と懇親会を予定しています。また、博物館見学やシンポジウムへの参加など各種フィールドワークも予定しています。「ゼミでこのような活動をしてみたい」というアイデアがあれば、それも取り入れたいと思います。

ゼミに入る上での注意点

ゼミの主役は皆さんです。自ら学ぶ意欲と、他のゼミ生と一緒にゼミ活動に積極的に参加する姿勢が大切です。

ゼミに関連して受講してほしい科目

西洋経済史 a、b

先輩ゼミ生からのゼミ紹介

「水野ゼミは、個性が豊かな人たちが集まって活動しています。にぎやかで楽しく活動できているので私たちとさらに良いゼミを作っていきましょう！」

「自分の学びたいことに対し、先生が親身になって対応してくれます。しっかりと大学で勉強をしたい人にはおすすめのゼミです。」

ゼミ名 (通称)	科目名	担当教員 (所属学科)	主要担当科目
宮田ゼミ	演習 I	宮田惟史 (経済学科)	経済学史

ゼミのテーマ

資本主義経済の理論・歴史・現状

ゼミの目標と内容

現代社会は、長期の経済停滞や労働環境の劣化、格差拡大、金融・財政問題等多くの問題を抱えています。演習 I では、このような現在の日本や国際社会が直面している経済問題を解明するために、経済学の歴史や基礎理論を学びながら、現代の資本主義経済にたいする理解を深めます。

現実に日々生じている具体的な経済現象を理解するためには、現代社会を根本的に規定している理論や歴史の把握が欠かせません。こうしたことから授業は、資本主義経済の歴史・理論と現状との両面に注意を払いながら進めています。



プロフィール

読書、スポーツ、芸術鑑賞、等々が好きです。

その他のゼミ活動

ゼミでは、毎週の授業の他に、夏合宿と春合宿を行っています。合宿では普段の授業とは異なるテーマをゼミ生で話し合っ決めて発表・討論を行います。毎年、社会見学(例年、東京証券取引所や日本銀行、新聞社など)にも行っています。また、定期的に懇親会なども行い親睦を深めています。宮田ゼミでは、ゼミ生同士、教員とゼミ生との人間関係づくりを大切にしています。また、毎年サブゼミも行っており、2年生は学生シンポジウムに参加し、3年生は学生奨学論文への投稿(投稿論文が受賞〔佳作および入選〕した学生もいます)なども行っています。

ゼミに入る上での注意点

ゼミでは、報告者によるテキスト(初回の授業で決めます)の発表や、新聞学習(毎回、授業開始の15~20分程度行い時事経済の理解も深めています)の資料作成が必須となります。報告者以外にもテキストをあらかじめ読むことが必要になります。また、自分の意見や疑問点を述べるができるよう準備しておくことが求められます。なお、無遅刻無欠席が原則です。

ゼミに関連して受講してほしい科目 : 「経済学史 a、b」、「経済理論 A/B」、「社会経済学 a、b」、等。

先輩ゼミ生からのゼミ紹介

こんにちは!宮田ゼミです。毎年、各学年 15 名程度(男女比は毎年半々くらいです)で活動をおこなっています。本ゼミでは、現在取りざたされている雇用(労働)、格差、金融問題などタイムリーな話題も扱いつつ、その根本を理解するために、歴史上重要な様々な経済学者たちの学説(アダム・スミスやマルクス、ケインズ等)を学んでいます。と、少しかたいことを書きましたが、実際は皆フレンドリーで懇親会や合宿などさわぐときはさわぐ、学ぶときは学ぶといったメリハリがついているゼミです。先生も優しく、いろいろ相談にのってくれます。大学生活を遊びだけでなく、勉学も充実させたい方、説明会や面接でお待ちしています!2020年度~2021年度は、先生がイギリス(ロンドン)に在外研究中で不在でしたが、2022年度から復活です!

ゼミ名 (通称)	科目名	担当教員 (所属学科)	主要担当科目
渡邊ゼミ	演習 I	渡邊恵一 (経済学科)	日本経済史 a, b

ゼミのテーマ

日本の経済・経営・産業を、歴史的な視点から考察しています。とはいえ、「日本経済の歴史を学ぶ」のではなく、「日本経済を歴史で学ぶ」というのが正確かもしれません。

経済には、「新しいように思えて古くからある問題」がたくさんあります。一定の期間が経過したからこそ得られる史料、データなどを分析していきます。日本史挫折者も歓迎！

ゼミの目標と内容

2～3年生合同で活動しています。毎年12月、日本経済史・日本経営史を専攻する他大学のゼミと研究成果を発表し合う「インターゼミ」を自主的に開催しています。

研究テーマは学生がアイデアを出し合って決めます。今年度は、コロナ禍のなかで浸透しつつある「食のデリバリー」について、かつて街の酒屋や米屋で行われていた御用聞きと配達、1980年代以降に企業主導で登場したピザの宅配や配食ビジネスなどとも比較しながら考察しています。学年混成のグループに分かれ、教員の助言や指導も受けながら、資料やデータの調査・収集、論文の執筆、プレゼンテーション（発表）用のスライド作成など、すべてを学生の力で進めます。箱庭のような駒澤大学のキャンパスを一步飛び出し、他大学の学生と討論したり交流したりすることは、学生時代の貴重な経験となり、就職活動の場でもきっと役に立つことでしょう。

4年生の演習Ⅲでは、卒業論文（卒業研究）の執筆が中心となります。テーマは、広い意味での日本経済史の範囲内であれば自由ですが、学生生活の集大成となる質の高い論文が書けるよう、教員が懇切丁寧に指導します。

その他のゼミ活動

授業時間だけでなく、合宿（年2回、ただし現在見合わせ中）などを含むゼミ活動全般への参加が求められます。

ゼミに入る上での注意点

数多くあるゼミのなかからどこを選ばよいか、誰もが迷うのではないのでしょうか。少しでもこのゼミに興味を持ってもらえたら、個別説明会（オンライン）で話だけでも聞いてみませんか。ゼミ長、副ゼミ長と一緒に、お待ちしております。

研究室のホームページに出ている情報も、参考にしてみてください。

渡邊恵一研究室



先輩ゼミ生からのゼミ紹介

▼渡邊ゼミでは、授業内の活動の中で「質問する力」を身につけることができます。2～3年生合同でゼミを行うので先輩たちから学ぶことも多く、大学内での縦のつながりを持つことができます。インターゼミでは、研究テーマを自主的に考えることができるなど、とてもやりがいのあるゼミです。【2年生男子、N・M】

▼毎回の授業で全員が1回は発言するなど、主体的に勉強に取り組む姿勢が身につくゼミです。合宿など勉強以外の交流をする機会もあるので、楽しい思い出がいっぱい作れます！プライベートでも集まって遊ぶほど、学年・男女に関係なく仲が良く、穏やかな雰囲気の中で活動しています。【3年生女子、M・A】

▼先輩後輩の壁がなく、風通しのいいゼミです。他のゼミにはないインターゼミでの経験は、将来に役立つ自発性やプレゼン能力が培われ、就活の際にも大きな武器になります。【4年生男子、R・O】



プロフィール
鹿児島大学助教などを経て2005年に駒澤大学へ。東京都出身。